

[改訂事項]

7. 倫理方針：人を対象とする研究は、ヘルシンキ宣言に基づき実施され、施設の倫理委員会の承認を得ていること。動物を対象としている研究は、ARRIVE ガイドラインにのっとっていること。

■ 編集方針

1. 本誌の目的

本誌は脳神経血管内治療、およびそれに関連した神経科学の分野における最新の情報や技術を提供・共有することを目的とする。

2. 投稿資格

会員・非会員を問わず、投稿を受け付ける。

3. 論文種別

脳神経血管内治療の発展に貢献しうるオリジナリティーに富んだ論文を歓迎する。原著、総説、症例報告、テクニカルノートを募集する。

4. 投稿の言語

和文論文の投稿のみ受け付け、掲載する。英文論文、または和文で投稿して英文誌掲載希望の場合は、英文誌 JNET Journal of Neuroendovascular Therapy に投稿すること。

5. 論文審査

審査はダブルブラインドで行う。投稿論文の採否は編集委員会で決定する。場合により原稿の一部改正または訂正を求めることもある。

6. 著作権

著者全員が以下の諸項を確認したうえで、投稿論文の著作権（著作権法第 27 条、同第 28 条に定める権利を含む）は日本脳神経血管内治療学会へ譲渡される。著者の同意確認は、オンライン投稿・査読システムの投稿画面で行うこと。また論文投稿完了時に、システムから著者全員に投稿確認メールが送信されるので各々必ず確認すること。論文は、クリエイティブコモンズ CC-BY-NC-ND（表示—営利利用不可—改変禁止）の国際ライセンスの条件下で掲載される。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

1) 投稿論文は過去に他の出版物に公開されたことがなく、公開予定もないことが必須条件である。

2) 投稿論文が他の著作物を侵害していないこと。論文・記事中において転載許諾が必要な部分については、その許諾を得ていること。

3) 投稿論文の内容について本質的な貢献を行った人はすべて著者に含まれていること。

4) 該当論文の内容の公開について、必要な場合は所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

7. 倫理方針

人を対象とする研究は、ヘルシンキ宣言に基づき実施され、施設の倫理委員会の承認を得ていること。動物を対象としている研究は、ARRIVE ガイドラインにのっとっていること。

8. 利益相反

1) 開示基準

投稿論文の内容に関して、「NPO 法人日本脳神経血管内治療学会医学研究の COI に関する指針」「同細則」に基づいて、共著者を含めた全著者が利益相反を開示すること。対象期間は、投稿日からさかのぼって過去 3 年間とする。開示すべき内容などの詳細は、学会 HP の「利益相反規定」を確認すること。

(開示基準)

A. 著者自身の申告事項

役員・顧問職 100 万円以上

株式 利益 100 万円以上又は全株式の 5% 以上保有

特許使用料 100 万円以上

講演料など 100 万円以上

原稿料など 50 万円以上

研究費 200 万円以上

受託研究費 年間 1,000 万円以上

寄付講座 年間 200 万円以上 (1 企業)

B. 著者の配偶者、一親等以内の親族、または収入財産を共有する者

役員・顧問職 100 万円以上

株式 利益 100 万円以上又は全株式の 5% 以上保有

特許使用料 100 万円以上

2) 開示の方法

利益相反の開示は、① 論文への記載、② 利益相反開示書の提出、の両方を行う。

① 論文への記載：下記の記載例にしたがって、論文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載する。1名以上の著者に利益相反がある場合は、論文本文への記載では著者名は「著者 A は…」というように匿名とし、実際の著者名はオンライン投稿システムの所定の欄に入力すること。（詳しくは投稿作業時に投稿システム内の説明を確認すること。）

（記載例）著者 A は X 株式会社から研究資金の援助を受けている。著者 B は X 株式会社の社員である。著者 C は X 株式会社から講演料等の謝金を受けている。筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

② 利益相反開示書の提出：開示書はジャーナル HP の投稿規定掲載画面と同じ画面からダウンロードできる。筆頭著者または連絡著者が全員の利益相反をまとめて1枚の開示書に記入し、論文投稿時に論文ファイルと一緒に提出する。

■ 投稿の様式

10. 投稿の方法

投稿はすべてオンライン投稿査読システムで受け付ける。 <https://mc.manuscriptcentral.com/jsnet> 再投稿は、査読者への回答として前回の各査読コメントに対して一つ一つ回答し、本文の修正箇所を明示する。本文の修正箇所はアンダーライン、カラーフォントなどでハイライトすること。

11. 原稿ファイルと利益相反開示書

投稿時には論文ファイルを下記のフォーマットでアップロードする。

- 1) タイトルページ：Word（タイトルページと本文ファイルは別ファイルにすること）
- 2) 本文（要旨～図表の説明）：Word
- 3) Table：Word, Excel（画像データやテキストボックスの貼付は不可）
- 4) Figure：JPEG, TIFF
- 5) Movie：MPEG, AVI
- 6) 利益相反開示書：Word, PDF

12. 書式

Word の A4 判で、フォントサイズは 10～11 ポイント、1 行の文字数 30 字、1 枚の行数 24 行、余白は前後左右を各々 30mm とする。

13. 英文校正

9. 著者資格

「著者」は、ICMJE (International Committee of Medical Journal Editors) が定義する下記の 4 つの条件をすべて満たす者に限る。また、下記の 4 つの条件をすべて満たす者は、「著者」としてはならない。

- 1) 研究の構想と企画、データの取得、分析、解釈に実質的な貢献をした。
- 2) 原稿の起草や、高度な知識に関する内容について批評的な推敲を行った。
- 3) 出版原稿の最終承認を行った。
- 4) 研究のあらゆる部分の正確性あるいは公正性に対する疑問が適切に調査・解決されるように、研究のすべての側面について説明責任があることに同意している。

上記 4 条件を満たさないが、研究に何らかの貢献をした者は「謝辞」に記載する。

英文要旨は、予め医学論文の校正を専門とする native speaker による校正を必ず受けること。

14. 数字・単位

数字は算用数字を用い、度量衡単位は CGS 単位で m, cm², mL, dL, g とする。

15. 略語

題名, key words, 要旨, 本文の各パートにおいて、初出の英単語は略さずスペルアウトし、2 回目以降は略語とする。図表の説明には、それぞれの図表について略語の定義を記載する。以下の略語は慣用語としてスペルアウトせず略語を用いることを認める。

CT, CTA, DSA, FLAIR, Gd, MRA, MRI, T1, T2, T2*, 3D

16. デバイス表記

カテーテル、コイルなどのデバイスは、論文中の初出時に発売元を記載する。デバイスの初出時に発売元を記載するため、デバイス名に“TM”や“®”を記載する必要はない。別掲の表記例を参考にすること。

（例）ED コイル -10 (カネカメディクス, 大阪)
→企業名, 所在都道府県名

GDC Ultrasoft (Stryker, Kalamazoo, MI, USA)
→企業名, 都市名, 州名, 国名

■ 論文の構成

17. タイトルページ

下記の項目すべての記載を必須とする。

- 1) 論文種別
- 2) 論文タイトル
- 3) 全員の著者名
- 4) 著者全員の所属施設・部署（論文が執筆された所属）（日英併記）
- 5) 連絡著者の氏名・連絡先（所属施設／部署名，住所，電話番号，メールアドレス）
- 6) 上記 1)～5)の英語表記
- 7) キーワード 5 個以内
- 8) 宣言『本論文を，日本脳神経血管内治療学会 機関誌「脳血管内治療」に投稿するにあたり，筆頭著者，共著者によって，国内外の他雑誌に掲載ないし投稿されていないことを誓約致します。』と記載す

る。本記載のないものは投稿を受け付けない。

18. 論文の基本構成

和文要旨→英文要旨→本文→（謝辞）→利益相反開示→文献→図表の説明，の順に構成すること。本文や図表には，著者名や所属機関名が判るような記載は避けること。

19. 論文種別による執筆要綱

論文の区分と長さは以下の通りとし，本文，文献および図表を含んだ長さとする。図表は 1 点あたり，1/4 頁換算（500 字）とし，本文，文献の長さを減じること。※規定の長さを超過している論文は原則として投稿受付しない。また論文の長さの文字数，刷上がり頁は目安であり，実際の刷上り頁数が目安を超過した場合は超過ページ料金を著者が負担すること。

総説	編集委員会から執筆を依頼することもある
語数	16,000 字以内（刷上り 8 ページ）
和文要旨	500 字以内。形式は問わない。
英文要旨	400 語以内。形式は問わない。
論文構成	形式は問わない。本文の後に「利益相反開示」「文献」は必須。
文献	50 個以内
図表	10 個以内
原著	独創性に富み目的，結論等の明確な研究論文
語数	12,000 字以内（刷上り 6 ページ）
和文要旨	500 字以内。構造化（目的，方法，結果，結論の見出しをつける。）
英文要旨	400 語以内。構造化（Objective, Methods, Results, Conclusion の見出しをつける。）
論文構成	「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「対象と方法」「結果」「考察」「結語」（謝辞）「利益相反開示」「文献」「図表の説明」
文献	30 個以内
図表	8 個以内
症例報告	脳神経血管内治療に関連した興味深い 1～2 症例の短報。技術的側面の強いものはテクニカルノートに投稿すること。
語数	10,000 字以内（刷上り 5 ページ）
和文要旨	300 字以内。構造化（目的，症例，結論の見出しをつける。）
英文要旨	250 語以内。構造化（Objective, Case Presentations, Conclusion の見出しをつける。）
論文構成	「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「症例呈示」「考察」「結語」（謝辞）「利益相反開示」「文献」「図表の説明」
文献	20 個以内
図表	6 個以内

テクニカルノート	新しい装置や治療器具，治療技術の開発など，主としてテクニカルな点を強調したもので，十分な臨床成績を積む前に報告する価値のある論文
語数	10,000 字（刷上り 5 ページ）
和文要旨	300 字以内，構造化（目的，症例，結論の見出しをつける。）
英文要旨	250 語以内，構造化（Objective, Case Presentations, Conclusion の見出しをつける。）
本文構成	「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「症例呈示」「考察」「結語」（謝辞）「利益相反の開示」「文献」「図表の説明」
文献	20 個以内
図表	6 個以内

20. 謝辞

謝辞がある場合は本文には記載せず，オンライン投稿・査読システム内の所定の欄に入力すること。

21. 利益相反開示

下記の記載例にしたがって，論文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載すること。1 名以上の著者に利益相反がある場合は，論文本文への記載では著者名は匿名とし，著者名はオンライン投稿システムの所定の欄に入力すること。（詳細は投稿作業時に投稿システム内の説明を確認すること。）

（記載例）

著者 A は X 株式会社から研究資金の援助を受けている。

著者 B は X 株式会社の社員である。

著者 C は X 株式会社から講演料等の謝金を受けている。

筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

22. 文献

登場順に番号をつけて列記する。文献の数は，本規定の「18. 論文種別による執筆要綱」を確認すること。本文中の引用文献は片括弧で superscript（上付き）の形式にする。著者は 3 名までは全員を，3 名以上の場合は 3 名までを記載し，「他」や”et al.”をつける。また，単行本の場合は編者の名を記入して下さい。誌名は，Index Medicus のよる略語を使用すること。

〈雑誌の場合〉 著者名：論文題名，雑誌略名，発行年（西暦）；巻： ページ初 - 終，〈著書の場合〉 著者名：書名，発行地，発行所，発行年（西暦），著者名：題名，編者名：書名，版数，発行地，発行所，発行年（西暦），引用ページ初 - 終。

（例）

1) Miyata H, Nakahara I, Ishii A, et al. Predictors and stroke risk of restenosis after carotid artery stenting. JNET J Neuroendovasc Ther 2015; 9: 245-253.

2) 太田貴裕，佐藤允之，天野 達雄，他：ステントリトリーバー導入前後での脳主幹動脈閉塞症に対する血管内再開通療法における時間短縮の検討. 脳血管内治療 2016; 1: 8-13.

3) Osborn AG: Diagnostic Neuroradiology. Mosby. St. Louis, 1994, 15-36.

4) 日本脳卒中学会，日本脳神経外科学会，日本脳神経血管内治療学会. 経皮経管の脳血栓回収用機器 適正使用指針 第 2 版 . http://jsnet.website/sozai/info-shonin/150402n_oukessenn_shishin.pdf （参照日：2016 年 12 月 10 日）

23. 図表の説明

図表の説明は文献リストの後にまとめて記載する。図表の説明に略語を使用した場合は，個々の図表の説明にその内容をスペルアウトして明示する。

24. 図表

1) 図表番号：表は Table 1, Table 2, …, 図は Figure 1, Figure 2…と番号をふる。本文中では，すべての図表を図表番号順に引用すること。

2) 表： Word または Excel で作成し，1 個につきひとつのファイルで保存する。表番号を Table 1 のようにつけて，タイトルを表の上に記載する。略語を使用した場合には個々の表の下部にその内容をスペルアウトして明示すること。また，画像データやテキストボックスを並べた表は不可とする。

3) 図：JPEG, TIFF 形式で作成し，1 個につきひとつのファイルで保存する。解像度は，CT, MRI, 脳血管撮影などの画像の場合，300dpi 以上，描画された図の場合には，1200dpi 以上とし，サイズはキャビネ版以上（127mm×178mm）で作成する。解像度を維持してサイズの調整が難しい場合は，審査用として Word または PowerPoint に十分な大きさで貼りつけたもので提出すること。CT, MRI は，頭部の右側が画像に向って左に，また脳血管撮影の側面像は，画像に向かって左が鼻側になるように配置する。3D 画像はその限りではないが，方向がわ

かるようにすること。

■ 制作と掲載

25. 著者校正

著者校正は1回とする。著者校正時に下記の「25. 掲載料」に関する料金について確認を行う。

26. 掲載料

1) 超過ページ料金：組版の結果、規定の刷り上がりページ数を超過した場合は、超過1ページあたり20,000円を著者の負担とする。

2) カラー印刷料金：カラー図表は、オンラインでは無料掲載とする。印刷もカラーを希望する場合は実費を著者の負担とする。カラー1頁めは55,000円、2頁めから1頁につき50,000円。

3) 別刷：別刷を希望する場合は、著者校正時に50部単位で注文を受け付ける。

問合せ先：脳血管内治療 編集室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル7F

(株)メディカルトリビューン 学術編集部

TEL 03-6841-4542, FAX 03-6841-4559

Email: nkc@medical-tribune.co.jp